

『自らの生き方を創る子どもの育成』～1人ひとりの個性を生かす教育の推進～



No.44 2026. 1. 24 校長 川上 誠治

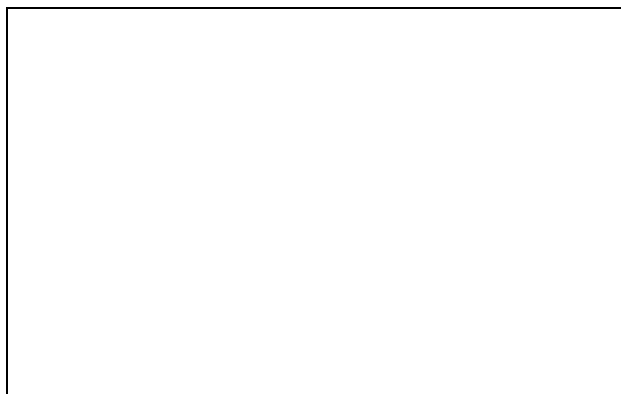
いつもありがとうございます。

感謝しています。



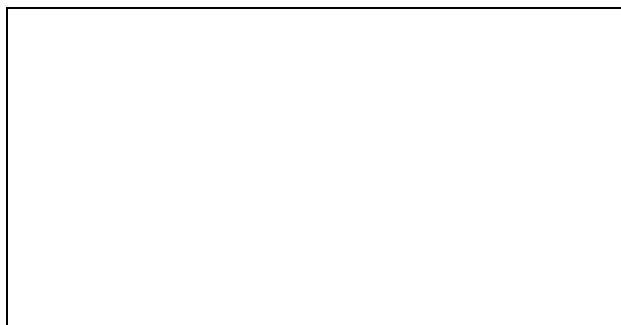
脳科学の研究が進んでいます。公益社団法人子どもの発達科学研究所の和久田学先生から科学的（脳科学です）に考える子育てについて学んだことがあります。

和久田学先生から学んだことで子育てがフワッと軽くなる（？）話があったので伝えさせてください！！



人間の脳の大脳辺縁系はアクセル（情動など）の働きをします。前頭前野はブレーキの役割（抑制など）をします。

和久田学先生は大脳辺縁系と前頭前野の神経細胞の成熟について次のように教えてくれました。



人間の脳はまずは大脳辺縁系が発達します。大脳辺縁系は車でいうとアクセルの役割です。だから子どもは衝動的で、多動的です。それに遅れて前頭前野が発達してきます。前頭前野は車でいうとブレーキの役割です。大脳辺縁系と前頭前野の発達のずれている時期が思春期です。思春期はアクセルとブレーキの加減がわからずいろいろな問題が起こる時期です。前頭前野の発達を待つしかありません。大脳辺縁系の発達に前頭前野の発達が追いついたときに思春期が終わるのです。



『子どもは衝動的で、多動的です。』という和久田学先生の言葉に納得しました！！そして『前頭前野の発達を待つしかありません』にも納得しました！！

ボクの息子が小学2年生の時に家の前の田んぼ（米を植えていました）で水遊びをし、そのまま家にあがって、シャワーを浴び、寒いからと言ってそのまま布団に入っていたことがあります！！田んぼはぐちゃぐちゃ、玄関、お風呂、布団も泥だらけでした！！

もう！！って怒りたくなったのですが…『前頭前野の発達を待つしかありません』という和久田学先生の言葉を思い出して、冷静になったことがあります（子育てでは冷静になることが大切です！！）！！